

令和5年度都立一橋高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・科目横断的に言語活動を実施し、「考える形成」、「記述」、「推敲」及び「共有」の機会とする。 ・活動の成果を文化祭で発表する。	・大学や企業主催のコンテスト等に応募する。 ・重点課題を踏まえた授業の相互参観を実施する。
地理歴史	「課題理解・解決」につながる基礎・基本を重視した活動の充実	・課題解決型学習の実施。諸資料を正確に読み取り、考察する活動を増やす。	・より高度な資料の読み取り、考察。 ・他者と協調しながら議論し表現することを目指したグループワークやプレゼンテーションの実施。
公民	「課題理解・解決」につながる基礎・基本を重視した活動の充実	・課題解決型学習や思考実験の実施。 ・個別最適学習化を目指した一人1台端末の活用。	・高度な資料の読み取り、考察。 ・他者と協調しながら議論し表現することを目指したグループワークやプレゼンテーション、フィールドワークの実施。
数学	自己肯定感を高める数学的活動の充実	・問題解決の過程において、スモールステップを重視した授業を実施 ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、他と共有したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・「探究の過程」を踏まえた実験を実施 ・上記過程で考察・推論したことや結論についての発表活動を実施	・教科を横断した「探究の過程」を踏まえた授業を実施 ・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施
保健体育	他者を思いやる心を育て、コミュニケーション能力を高める。	見かた・考え方について深い理解をさせるため、映像や画像等、視覚からの指導の充実を図る。	する、見る、支える、知るの実践を授業以外での場面で発揮できるよう多面的な指導をする。
芸術	主体的・対話的な深い学びに向けた実技指導の充実	作品や演奏ごとに、観点別評価に対する具体的な評価の数値化された観点を設置 生徒1人1人の能力に応じた個別の指導や振り返り	文化祭等行事での演奏や展示 授業内での発表や生徒相互に講評を行う
英語	基礎基本を重視した言語活動の充実	・毎授業の単語テストで語彙の増強 ・技能講座で英検取得支援、面接練習 ・外国人講師を活用した実践的なコミュニケーション活動	・ペアワーク、グループワークなどを通じ、他者と協働する力を育成する活動 ・より良いコミュニケーションを目指し、的確な表現、内容や情報の整理をする力を養う活動
家庭	「課題解決」につなげる学習活動の充実	・課題解決の過程において、スモールステップを重視した授業を実施 ・生活者としてこれからの人生を生きる力となる知識や技術を身につけることのできる教材を工夫	・課題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
情報	情報社会における課題発見・解決を行う学習活動の充実	・課題解決型授業を毎時間実施 ・民間補助教材を導入し、社会課題の解決を題材とした実習教材を導入 ・各単元の最終課題等で、グループ(協働学習)による探究的な実習を実施	・民間のプログラミングコンテスト等に参加 ・グループ(協働学習)による探究的な実習の成果に関する発表および相互評価、フィードバックの実施
商業	実社会に生きる力の養成と課題発見・探求活動の充実	・企業人・職業人として必要な知識・技術を身に付けさせる授業内容の構築 ・企業や社会の実態を踏まえ、課題を発見し、解決方法を考察する探究活動の実施	・大学が主催するビジネスコンテストへの応募 ・日本情報処理検定協会主催の文書デザインコンテストへの応募 ・検定資格取得の推進